

# 函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会

## 第14回会議 会議録（要旨）

### 1 日 時

令和3年9月8日（水）19：00～20：00

### 2 場 所

函館市医師会病院5階講堂（ウェブ開催）

### 3 出欠状況

メンバー：寺田部会長，水越副部会長，船山メンバー，山本メンバー，益井メンバー，渡部メンバー，白川メンバー，齋藤メンバー

部会運営担当：（函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，近藤，山田，甲谷

### 4 議 事

#### ○報告事項

- 1，令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告
- 2，センターホームページ「コラム」の掲載について
- 3，研修情報の一元化と提供について

#### ○協議事項

- 1，第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について

### 5 会議の内容

#### 佐藤幹事

ただ今より，函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第14回会議を開催いたします。本日は，ウェブ会議となっております。カメラはONのままにして頂き，ミュートは発言時に解除してください。発言時には，画面上でわかりづらい事があると思いますので，氏名を名乗ってください。事務局での操作等で不慣れな点があると思いますが，よろしくお願い致します。

地域包括ケア推進課 医療・介護連携担当ですが，日程調整がつかず欠席となっております。事前に書面での確認は済んでおります。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

なお，前回の会議でも確認いたしておりますが，この会議は原則公開により行いますので，ご了承願います。

次に，第13回の会議録についてですが，事前に各メンバーの皆様にご確認をさせていただきました。事務局の方には，特に修正のご意見がございましたので，原案どおりで，第

1 3回会議録を確定し、市のホームページ上で公開させていただきました。

本日は、道南在宅ケア研究会の川口篤也様と、北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部の阿部綾子様が所用により欠席となっております。函館歯科医師会の川村曜補様、北海道看護協会道南南支部の渡邊渉様、函館市地域包括支援センター連絡協議会の京谷佳子様は、遅れての参加予定となっております。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。事前に会議次第1枚、資料1から6まで全部で裏表の印刷含め合計8枚を送付しておりますが、お手元に準備して頂けると助かります。本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願い致します。

それでは寺田部会長、お願いします。

### 寺田部会長

それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。報告事項1「令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告」に関して、近藤幹事から説明をお願いします。

### 近藤幹事

皆様、こんばんは。幹事の近藤です。報告事項1「令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告」につきまして、ご報告いたします。資料1をご覧ください。

資料3の「令和3年度 多職種連携研修実績および予定表」と合わせてご確認いただければと思います。

#### (1) 相互理解の促進

①医療関係者向け研修会（動画公開）です。

一つ目（ア）、令和3年3月頃公開予定が遅延していた動画ですが、令和3年5月26日から6月18日まで動画公開、テーマは「介護サービスの概要と役割（医療と介護の連携）」講師は、函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所の管理者・主任介護支援専門員 宮城智美様となっております。閲覧人数580名アンケート件数135件となっております。動画公開後のアンケートでは、「介護支援専門員の業務、報酬、医療側から知りたい情報についてのアナウンスが印象的」「関係各所、お互いの業務理解を深めることが大切。協力し合うことのできる関係性を維持していく事の大切さを再確認することができた」等のご意見があり、介護支援専門員の業務を知る事で、自職種との関わりを考える機会になったのではないかと考えております。

二つ目（イ）、テーマは「介護サービスについて～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～」講師はSOMPOケア函館昭和 居宅介護支援 管理者 加藤由美様となっております。現在、動画作成中で11月頃公開予定となっております。

②介護関係者向け研修会（動画公開）です。

テーマは「症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事」、講師は、たかさわ糖尿病内科クリニック 院長 高澤宏文先生となっております。現在、動画作成中で9月もしくは10月頃公開予定となっております。

③オープンカンファレンスです。

新型コロナウイルスの感染状況により、開催未定となっております。

④研修会等コーディネーターですが、資料4をご覧ください。

令和3年8月に、各関係者団体窓口一覧を更新し当センターHPに掲載をしております。規定に関しましては、標題を一部変更、《活用方法》を追加しています。今後も、1年毎に更新し各団体間での連携時に活用して頂ければと思います。

## (2) 連携強化

①看取り（ア）についてです。

第6回函館市医療・介護連携多職種研修会ですが、10月16日土曜日、14:00～17:00を予定しております。のちほど協議事項で、皆様にお話させていただきます。

(イ) 施設看取りへの支援です。

施設看取りの事例報告会の開催を検討しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況により、開催未定となっております。

(ウ) 在宅看取りへの支援です。

在宅看取りの事例報告会の開催を検討しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況により、開催未定となっております。

②入退院支援についてです。

(ア) 退院支援分科会が主催の「はこだて入退院支援連携ガイド」を活用した研修会と、(イ) 情報共有ツール作業部会主催の「入退院支援連携強化研修会」ですが、新型コロナウイルスの感染状況により開催未定となっております。

③急変時対応での急変時対応分科会実務者会議の主催の研修です。

新型コロナウイルスの感染状況により会場開催から動画公開となっております。「急変時対応研修会」と題しまして、座長は函館中央病院 事務次長・総合医療支援センター副センター長 亀谷博志様、シンポジストとして、市立函館病院 医療連携担当課 退院支援係長 荒木英世様、高橋病院 医療福祉相談・地域連携室室長 石井義人様、函館市地域包括支援センターたかおか施設長 松野陽様です。令和3年7月12日から8月7日まで公開、閲覧人数621名 アンケート件数133件となっております。

## (3) 多職種連携の専門性の向上

函館市における多職種連携への理解の促進（出張講座の実施）ですが、ご依頼はありませんでした。

(4) 人材育成 センター主催研修会への見学参加（出前講座の実施含む）

各医療、介護系の学校へ医療・介護関係者向けの動画研修の案内を配布しております。現在までで、動画研修の閲覧希望はありませんでした。

報告事項1「令和3年度 多職種連携研修計画 実施報告」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

それでは、報告事項1に関して、皆様からご発言を頂きたいと思っております。ご質問、ご意見等はございませんか。無いようでしたら報告事項1に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。

それでは、報告事項2「センターホームページ『コラム』の掲載について」に関して、近藤幹事から説明願います。

## 近藤幹事

資料1, 報告事項2「センターホームページ『コラム』の掲載について」につきまして、ご報告いたします。

「認定看護師の役割と活動」のコラムですが、2か月毎にコラム掲載しており、5月は、がん放射線療法看護認定看護師 函館五稜郭病院 秋山香織様、7月は、摂食・嚥下障害看護認定看護師 当部会のメンバーとしてもご協力いただいております共愛会病院 渡邊渉様、9月は、クリティカルケア認定看護師 市立函館病院 河瀬亨哉（こうすけ）様の予定となっております。コラムの閲覧件数ですが、5月は「がん放射線療法看護」が100件、7月は「摂食・嚥下障害看護」が94件となっております。

報告事項2「センターホームページ『コラム』の掲載について」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

それでは、報告事項2に関して、皆様からご発言を頂きたいと思えます。ご質問、ご意見等はありませんか。無いようなので、報告事項2に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。（異議なし）

それでは、続きまして報告事項3「研修情報一元化と提供について」に関して、近藤幹事から説明願います。

## 近藤幹事

資料1, 報告事項3「研修情報一元化と提供について」ご説明いたします。資料5をご覧ください。

令和3年4月から令和3年8月の掲載分としては合計5件でした。その他として、令和3年7月より函館市医師会が北斗市および七飯町からの委託を受け、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターを開設しております。そのセンター主催での研修（説明会）が1件、函館市医療・介護連携支援センター主催・共催研修会が4件の掲載となっております。研修情報提供への協力についてのお願いに関しましては、各関係団体窓口一覧更新完了のお知らせとともに、研修情報提供の協力依頼を行いました。引き続き、掲載数の拡大に努めていこうと考えております。メンバーの皆さまにも、今後とも研修情報の一元化にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

報告事項3「研修情報一元化と提供について」のご報告は以上でございます。

## 寺田部会長

それでは、報告事項3に関して、皆様からご発言を頂きたいと思えます。ご質問、ご意見等はありませんか。無いようなので、「報告事項3」に関しては以上にて終了し、次の議事に進めてよろしいでしょうか。（異議なし）

それでは、続きまして協議事項1第6回函館市医療・介護連携多職種研修会について、近藤幹事から説明願います。

## 近藤幹事

協議事項1「第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会について」ご説明いたします。資料6をご覧ください。

第6回 函館市医療・介護連携多職種研修会の素案になります。市内の新型コロナウイルス感染状況に鑑み、研修の開催方法について、会場開催ではなくウェブ開催を提案いたします。使用するツールは、Microsoft Teams（以下、チームス）、利用参加人数は最大250名ですので定員200名と考えています。参集方法は例年通りで行いますが、教育機関と行政は申込状況のみを案内を検討するとしています。テーマは、前回の部会で提案させて頂いた「在宅・施設・病院それぞれの多職種によるACPの在り方」、目的はACPの実践に向けて、多職種の相互理解とACPの理解を深める、目標は、「在宅・施設・病院での事例を通して、利用者（患者）の思いやACPの必要性を知ることができる」、「研修にて自職種を振り返り多職種と情報共有することができる」、「利用者（患者）の意思決定を支援するチームの一員として明日からの働きを具現化できる」としました。座長は、当部会のメンバーとしてもご協力いただいております稜北病院 川口篤也先生、シンポジストは、訪問看護ステーションフレンズ 所長 保坂明美様、特別養護老人ホーム旭が岡の家 生活相談員・介護支援専門員 南部雄一様、市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎裕先生にお願いしております。

研修構成ですが、グループワークを行う事を検討していましたが、座長の川口先生とも相談させて頂き、3人の講師の方々の講演の後には、座長の進行により座長とシンポジストでディスカッションをしながら参加者から意見を伺ったり、質疑応答をするという構成を考えております。時間配分として、各シンポジスト20分の講演の後、座長から10分ほどの講演、ディスカッション60分、総評10分としております。役割分担として、開会挨拶は本間会長、閉会挨拶は恩村副会長、司会は水越副部長、補佐として寺田部長、ウェブ担当として事務局センター、メンバーの皆様には活発なディスカッションにつながるように発言して頂くなどご協力を頂きたいと考えております。研修会中止時の代替えについては、シンポジストの方々の講演内容を動画公開としております。

協議事項1）「令和3年度 函館市医療・介護連携多職種研修会について」の説明は以上になります。第6回函館市医療・介護連携多職種研修会、（1）開催方法、（2）内容、（3）研修中止時の代替えについて、ご協議いただければと思います。

## 寺田部会長

近藤幹事、説明をありがとうございます。

本日のメインのテーマかと思いますが、まず開催方法、内容、研修中止時の代替えの三つについて協議できればと思っております。最初に、開催方法については、チームスで行うということと200名、最大250名で行うという案がありましたが、これに関しまして、皆様から何かご意見などございますか。

## 水越メンバー

人数の取りまとめについてですが、ある程度人数を薬剤師会なら薬剤師会のほうで何名くらいという形で、どの程度の規模というのを決めていたと思うのです。医師会、薬剤師

会、歯科医師会と取りまとめしていたと思うのです。この間の理事会でも質問があったものから、これをどうするのか。申込みの仕方によっては職種がかなり偏る可能性もあるので、参集の方法はどのようにする形になりますか。

### 近藤幹事

薬剤師会と鍼灸マッサージ師連絡協議会と柔道整復師会は、取りまとめして頂く事になっていて、その他は各事業所に I F A X でお知らせして、団体長へもお知らせするという形を今回もやろうかと思っています。確かに業種が偏るという可能性も考えられると思うのですが、申し込み人数がどの位くるのか、ウェブだということと敬遠されるのか意外に多く申込がくるのか、ちょっと判断がつかない、難しいところがある。まずは通常通り案内を出して見て、参加状況をみながら人数調整をさせて頂こうかと思っています。

### 水越メンバー

分かりました。前回は薬剤師会で取りまとめした後に状況を見て、お断りするケースもあったと思いますので、今回もそのままということによろしいですね。

### 近藤幹事

まずは、どの位の人数が集まるのかということを見て考えていこうかなと思っています。

### 水越メンバー

薬剤師会以外の会も同じなのかもしれませんが、わりとウェブのほうは研修でどんどん使っており、そういう環境が整っているところと、未だ整っていないところとあるかもしれないので、その差が出ると心配があるなと思っています。とりあえず薬剤師会は、前回と同じく募集はかけますけれど、場合によってはお断りすることもあるというようにやります。

### 近藤幹事

よろしくお願ひ致します。

### 寺田部会長

その他にも開催方法について、何かご意見はございませんでしょうか。

### 齋藤メンバー

道南老施協協会の齋藤です。初歩的な質問なのですが、なぜ今回、ウェブ開催をチームスでやろうとしたのですか。私、ウェブ会議やウェビナー出て、ほぼ Z o o m で、あとライフサイズというのもやったことがあるのですが、何でチームスが選ばれたのか、何かメリットがあったのかなと思ひまして、聞きたかったです。

### 近藤幹事

チームスなのですけれど、オフィス 3 6 5 を無料で使えるということなんです。

#### 齋藤メンバー

分かりました。

#### 寺田部会長

他、ありませんか。開催方法に関してはよろしいでしょうか。

続きまして、内容に関してACPの在り方についてという事に関しまして、3名のシンポジストと座長からのお話、その後座長を中心とした参加者とのやり取りといった内容なのですが、この内容に関しまして何かご意見がありましたらお願い致します。

内容に関しまして、特に無いという事でよろしいでしょうか。益井先生よろしいですか。

#### 益井メンバー

(画面でOKサインを出している)

#### 寺田部会長

ありがとうございます。

三つ目の、研修会中止時の代替えにつきましては、シンポジストの方に事前に動画撮影をさせて頂いたものを配信という形ですが、何かご意見ございますか。

#### 船山メンバー

どのような場合に中止となるのでしょうか。

#### 近藤幹事

ウェブで開催となると、ほぼ中止になる事はないかと思っておりますが、座長の川口先生が急遽出られないとか、センターの職員が具合悪くなったとかで、どうしても出来ないという時があるかもしれないので、万が一、何事か起きた時の案として出させて頂きました。

#### 船山メンバー

分かりました。

#### 寺田部会長

他、何かございませんでしょうか。近藤さん、事前に動画撮影ありきということでしょうか。

#### 近藤幹事

はっきりウェブでも中止となった場合に、シンポジストの方にそれぞれ動画を取らせて頂いて、他の医療・介護者研修向けみたいな感じで、配信する案を出そうかと思っております。

#### 寺田部会長

シンポジストの方が体調不良になったりしたら、取ることさえ出来ないのかなと思いますね。

### 近藤幹事

そうなるかと延期か、シンポジストの方が3名いるので一人ずつ出すか、またその時点で考えようと思っております。

### 寺田部会長

他、皆様から何かございませんか。内容でも開催方法でも、どのことでも良いのですけれども。

### 近藤幹事

ACPに関してなんですけれど、一応、事業所でどのようなことを取り組んでいるのかという事と、事例を一個ないし二個出していただくことを、3人の講師の方をお願いしています。具体的にこのような関りをして良かった、これは困ったという点を出して頂き、事例を皆でディスカッションできればと考えております。今日は、川口先生がいらっしゃらないのですけれど、9月28日に講師と、座長の川口先生と打ち合わせをして、どういう風にディスカッションできて、盛り上がるのかという話をしようかと思っておりました。

### 寺田部会長

他、何かありませんか。船山さんお願いします。

### 船山メンバー

川口先生のところが10分となっていますが、もう少し長くても良いのではないのでしょうか。川口先生に回してもらったほうが上手くいくと思うので、10分って短い気がするのですけれど。

### 近藤幹事

ディスカッションは60分としているのですが、川口先生にディスカッションでどの位の時間が掛かるのかというのを聞いた時に、最大で60分だろうと、それ以上だと長すぎるし、それくらいがよいのではとなり、60分でどういう風に回すかという話をしました。あと、講師の方々3人20分で、川口先生の10分は確かに短いと思うので、もう少しお話して頂きたいのですけれど、まず、川口先生が、3人の講師の方々がお話してその後自分がお話しするか、ディスカッションの最後にするかその辺も何を事例に話すかによって、話すことを少し考えたいと仰っていたので、一応10分とはさせて頂いていますが、もしかしたら私たちの希望通り、もう少し長くなるということも起きるかなと思っております。

### 船山メンバー

今回、グループワークが出来ないと思うので、川口先生に回してもらって、色々意見を交わし合えたらいいなと思いますね。かなり熱い方もシンポジストの中におられますので、流れる的にはそのほうが良いのではないかと思いますね。以上です。



### 近藤幹事

ありがとうございます。

### 寺田部会長

貴重なご意見ありがとうございます。他、ございませんか。近藤さん、何かありますか。

### 近藤幹事

ディスカッションの中で、皆さんがどんどんと手上げしてくださることを願っているのですが、如何でしょうか。

### 寺田部会長

他の皆様の部会の中で、オンライン研修などでの反応はいかがでしたか。オンライン配信になった途端に誰も発しなくなる傾向があるとか、参加者自体が少なくなるとかあったら教えて頂きたいと思います。水越先生、薬剤師会はいかがですか。

### 水越メンバー

今、理事会も全部ウェブなのですけれど、座長の方が場合によっては、指名しても良いのではないかと思います。川口先生ならば、上手くやって頂けると思いますし、最初に誰かが言ってくれると、その後でどんどん出るような感じがしますよね。もし、出なければ、その辺を川口先生にお願いしておけば良いと思います。

### 寺田部会長

他にありますか。

### 近藤幹事

実は、川口先生とも話しをしている中で、もちろん手上げして頂けると良いのですが、もしなければ、こちらから誰が参加しているか分かるので、逆指名して、どんどん当てていくことも考えておまして、皆さんも選抜される可能性がありますので、よろしくお願ひします。

### 寺田部会長

逆指名される方には、赤いマーカーで印をつけたほうがいいですね。

### 近藤幹事

打ち合わせの時に、色々な職種の人達に満遍なく回せると良いなと思いました。

### 寺田部会長

柔道整復師会では、オンラインの研修ということで、何かありませんか。

### 山本メンバー

柔道整復師会の山本です。オンラインでの研修は、当会では一度も開催されておられません。

#### 寺田部会長

そうすると、オンライン研修となると人数が減るのではないかという感じですかね。

#### 山本メンバー

そうですね。それは、そう思っているところです。

#### 寺田部会長

職種によっては、そういうところもあるということですかね。

#### 近藤幹事

そうですね。難しいですね。コア会議でも話に出ていた介護事業所では、なかなか難しいところがあるかなと思っているところです。

#### 水越メンバー

パソコンにカメラが付いていないと出来ないと思っている方がいらっしゃいますが、今私が iPhone でも参加できるのですから、ある程度機能があれば出来るので iPhone でもスマートフォンでも出来るという案内は出したほうが良いと思います。

#### 齋藤メンバー

道南老協協は、ウェビナーは未だ一回しかやっていないのですが、やっぱり参加者は、かなり偏りました。そういうことに積極的に参加する施設としない施設とに明確に分かれていて、水越先生が仰るように本当は、スマホや iPhone で出来るのに、それすら怖がってしまうので、やはり施設の中にオンラインの環境が整っていれば、密にならないように見ているのが多いのかなと思っています。個人の自宅で、スマートフォンを使って、ウェビナーを受けるとするのは、未だ浸透していないと思いますが、この流れは続くと思います。実際に集まれる機会も出てくるとは思いますが、この機会に出来るようになるのも良いのではないかと思います。やっぱり出来る事業所がどんどん引っ張っていけるようであればならないと思いますね。介護事業所としては、そのように思います。

#### 寺田部会長

ありがとうございます。皆様、何かございますか。よろしいでしょうか。また、会が終わった後にでも大規模研修を行う上での意見や懸念などがありましたら、遠慮なくセンターへ言って頂けたらと思いますので、よろしくお願い致します。

続きまして、協議事項は終わりました、次に進めさせていただきます。次の部会につきまして、近藤幹事からお願い致します。

#### 近藤幹事

次回の部会は、改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりま

す。大規模研修につきましては、メンバーの方々は、もう一回顔合わせということは無いと思うのですが、センターのほうで、皆さんにもう一回集まって頂いて画面上の練習というか、どんな感じで見えているかということでご協力を頂くこともあるかと思っておりますので、その時はよろしくお願い致します。あと、司会の水越さんとは、打ち合わせしないといけないと思っておりますので、ご連絡しようと思っておりました。よろしくお願い致します。

#### 寺田部会長

他に何か皆様からございますか。なければ、全ての議事が終了しましたので、進行をセンターにお返しします。

#### 佐藤幹事

寺田部会長， どうもありがとうございます。

それでは， 以上をもちまして， 函館市医療・介護連携推進協議会の多職種連携研修作業部会の第14回会議を終了いたします。皆様お疲れさまでした。